テレビを観る

本機では、地上デジタル放送のテレビをお楽しみいただけます。

アナログ放送終了後の周波数リパックについて

2011年7月24日の地上アナログ放送停波後から、周波数の再編（周波数リパック）が実施されます。
地上デジタル放送については現在13ch ～ 62chが割り当てられていますが、2011年7月24日以降、13ch ～ 52chの割り当てに変更になります。53ch以上の放送は、地上デジタル放送のチャンネルが切り替わることで視聴ができなくなるため、本機でオートプリセットする必要があります。**(P.166)**なお周波数の切り替え時期は地域によって異なります。

周波数リパックの情報に関しては下記のURLをご覧ください。
- デジサポのホームページ
  http://digisuppo.jp/index.php/repack/
- 総務省の資料
  http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/dtv/pdf/090403_02_bt.pdf

テレビを観る前に

テレビを視聴するために必要なmini B-CASカードについて説明します。

mini B-CASカードについて

mini B-CASカード（以降、B-CASカード）は、デジタル放送番組の著作権保護や有料放送の視聴などに利用するカードです。
地上デジタル放送では、このB-CASカードがセットされていないと放送をご覧になれません。
地上デジタル放送を視聴するときは、必ず本機にB-CASカードを入れてください。

MEMO

・B-CASカードは本機に付属のものを使用してください。

●地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、コピー制御信号を加えて放送しています。その信号を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。
●B-CASカードを折り曲げたり、濡らしたり、大きな衝撃を加えたりしないでください。衝撃などが加わるとB-CASカードが故障するおそれがあります。
●B-CASカードの金属端子部は触らないでください。金属端子部に触れるとB-CASカードが故障するおそれがあります。
●B-CASカードを直射日光に当たるところに長時間放置しないでください。高温によりB-CASカードが故障するおそれがあります。
●B-CASカードを磁気がある場所に放置しないでください。
磁気によりB-CASカードが故障するおそれがあります。
●試乗車など、不特定または多数の人の視聴を目的とした業務用途には使用できません。
※試乗車の場合は、特別用途向けカードをご使用ください。
●B-CASカードは、乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

mini B-CASカードを台紙からはがす

B-CASカードの「使用許諾契約約款」をよくお読みになり、お客様ご自身でパッケージを開封してください。お客様がカードのパッケージを開封した時点で、カード台紙に記載の「B-CASカード利用許諾契約約款」を締結したことになります。
B-CASカードが貼り付けられていた台紙は、大切に保管しておいてください。B-CASカスタマーセンターへ問い合わせる際の案内などが記載されています。

MEMO

・B-CASカードに関する内容の問い合わせや、B-CASカードを紛失された場合は、下記の問い合わせ先へ連絡してください。
株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
TEL：0570-000-250（AM10：00 ～ PM8：00）（年中無休）
・お問い合わせ時にB-CASカードのID（識別）番号が必要となる場合があります。あらかじめB-CASカードのID番号は控えておいてください。（P.173）

mini B-CASカードのセット

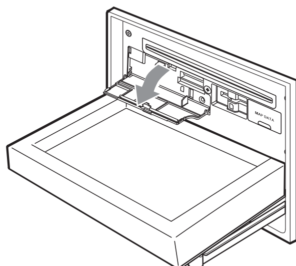
お願い

・B-CASカードの抜き差しは、必ずエンジンを切った状態で行ってください。
・故障の原因となりますので、カード挿入口にB-CASカード以外のものを挿入しないでください。
・車から離れるときは、必ず操作パネルを閉じてください。

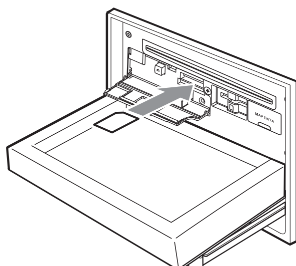
1 エンジンを切る

2 操作パネルを開く

3 **B-CASカード挿入口のフタを指先で手前に倒す**



4 **金色端子部を下にして、B-CASカードをカード挿入口に挿入する**

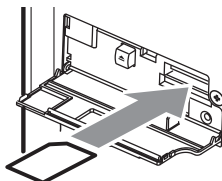


5 **B-CASカード挿入口のフタを閉める**

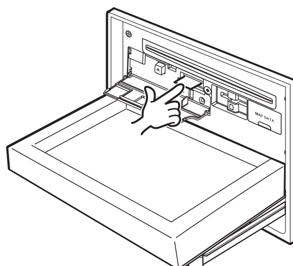
6 **操作パネルを閉じる**

MEMO

- B-CASカードを入れる向きを間違えないようにしてください。入れる向きを間違えると地上デジタル放送を視聴できません。



- B-CASカードは必ず奥に突き当たるまで差し込んでください。奥まで差し込まれていないと、操作パネルが閉じなくなり、受信できません。（カチッと音がするまで差し込みます。）
- B-CASカードを抜く場合は、カードや本体を傷つけないよう静かに抜いてください。（指先でカチッと音がするまで押して離します。その後、指先でカードをしっかりつまんで手前に抜き取ります。）



- B-CASカード挿入口のフタが開いている状態では、操作パネルは閉じません。
- 操作パネルが閉じた状態で、走行中にB-CASカード挿入口のフタが開くと、自動的に操作パネルが開くようになっています。

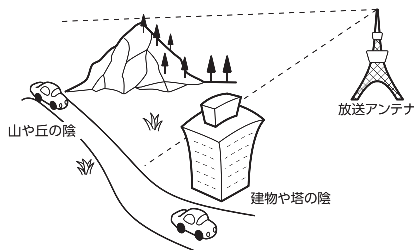
テレビ放送の受信について

テレビをご覧になるにあたって、以下のような現象が起こることがあります。

●車の移動によって、建物や山などの障害物に影響されて電波の強さが変わり、受信状態が悪くなることがあります。

●放送エリアから離れると、電波が弱くなり、受信状態が悪くなります。

●電車の架線や高圧線、信号機などの外部要因により、画像が乱れたりする場合があります。



はじめて使うときは

⚠ 警告

- **運転者がテレビを観るときは、必ず安全な場所に停車させてください。**
- **本機は安全のため、停車時のみテレビの映像をご覧いただけます。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。**

MEMO

- 地上デジタル放送を受信するには、受信用アンテナが必要です。

はじめて地上デジタル放送を観るときは、受信できる放送局を探して、本機に記憶（オートプリセット）させます。

1 ソース選択画面で TV

2 設定



MEMO

- 設定しない をタッチすると、テレビ画面に切り替わります。この場合、放送局のリスト（プリセットチャンネルリスト）には何も表示されません。

3 テレビを受信する地域を選択

4 テレビを受信する地域の郵便番号を入力 ▶ 決定

5 はい

受信できる放送局を探して、本機に自動登録します。オートプリセットが終了するまで、しばらくお待ちください。
オートプリセットが終了すると、テレビ画面に切り替わります。



次回からソース選択画面で TV をタッチすると、テレビ画面が表示されます。
画面のキーに触れないまま約8秒が経過すると、画面に表示されているキーが消えます。再度表示させるには画面をタッチします。

MEMO

- 手動でキーを消すには、戻る をタッチします。
- 手順3、手順4で「設定しない」を選択しても、オートプリセットを実行することができます。
- 手順5で「いいえ」を選択すると、テレビ画面に切り替わります。この場合、放送局のリスト（プリセットチャンネルリスト）には何も表示されません。
- 受信する地域と郵便番号は、設定画面からも設定できます。**(P.172)**
- 本機は地上デジタル12セグ放送とワンセグ放送の自動切り替え機能を備えています。12セグ放送の受信状態が悪化したときに、自動的にワンセグ放送に切り替えることができます。**(P.170)**
- 地上デジタル放送受信中に音量を調整した場合、ほかのソース（ラジオ、DVDなどの音源・映像源）に切り替えて音量を変えても、次回地上デジタル放送を受信したときに元の音量で観られます。
- 地上デジタル放送受信時に（主に弱電界）画像が乱れることがありますが、故障ではありません。また画像が一時止まる場合がありますが、デジタル処理によるもので故障ではありません。

選局する

テレビ画面から選局する

現在観ている画面から、ほかのチャンネルに切り替えることができます。

1 ソース選択画面で TV

2 放送局を選択



選択した放送局に切り替わります。

MEMO

- ⏮ または ⏭ を押して、チャンネルを切り替えることもできます。

自動で選局する

1 ソース選択画面で TV

2 ⏮ または ⏭ (長押し)

受信可能な放送局を検出すると、自動的に終了しその放送局を受信します。

MEMO

- 「1セグ／地デジ切替」(P.170) を「自動」に設定している場合、12セグ放送を優先して受信します。

受信可能な中継局／系列局を探す

走行中に受信状態が悪くなった場合などに、中継局や系列局を探して切り替えることができます。
はじめに中継局を探し、中継局がなければ系列局を探します。

1 ソース選択画面で TV

2 メニュー ▶ 系列局サーチ

走行エリア内で、受信状態の良い中継局／系列局を探索し切り替えます。
異なる地域をまたいで走行する場合は、中継局／系列局を自動で探し出して受信することができます。(P.171)

MEMO

- 「1セグ／地デジ切替」(P.170) を「自動」に設定している場合、12セグ放送を優先して受信します。
- 系列局に切り替わった場合、時間帯によって番組内容が異なることがあります。
- 切り替わった中継局／系列局は、プリセットチャンネルリストに自動登録されません。

番組表（EPG）から選局する

観たい番組を番組表から探して選局します。

1 **ソース選択画面で** TV

2 メニュー ▶ 番組表

3 ▲、▼、◀、▶ **で番組を選択** ▶ 決定



選択した番組の放送を受信します。

番組表切替：

タッチするたびに、番組表の表示をワンセグ／ 12セグに切り替えます。

※「1セグ／地デジ切替」(P.170)を「自動」に設定している場合のみ

前日：

翌日以降の番組表を参照中に、前日の番組表を表示します。

翌日：

翌日の番組表を表示します。

表示切替：

番組表の表示を、メインチャンネルのみ／全チャンネルに切り替えます。

拡大縮小：

タッチするごとに4パターンの拡大縮小画面が表示されます。

更新：

番組表の内容を更新します。

MEMO

- 番組表は、ほかのソース選択時やオーディオパワー OFF時などテレビモードがOFFのときに、15分ごとに自動で更新されます。
- 現在の放送時間ではない番組を選択すると、番組内容が表示されます。(P.168)

チャンネル番号を入力して選局する

12セグおよびワンセグ放送のメイン／サブチャンネルを直接入力して選局することができます。

1 **ソース選択画面で** TV

2 メニュー ▶ 設定

3 チャンネル番号入力

4 **チャンネル番号を入力** ▶ 決定

MEMO

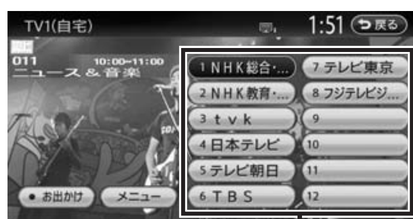
- 3桁に満たない番号を入力した場合は、決定 はタッチできません。
- 「1セグ／地デジ切替」(P.170)が「自動」の場合は、ワンセグ／ 12セグのどちらの3桁チャンネル番号を入力しても放送局があれば選局されます。
- 「1セグ固定」の場合はワンセグ3桁チャンネル、「地デジ固定」の場合は12セグ3桁チャンネル番号のみ選局されます。
- テレビ画面で観たい番組の放送局をタッチして、直接選局することもできます。

放送局リストを利用する

よく観る放送局を放送局リストにプリセット（あらかじめ放送局を本機に記憶させておくこと）できます。放送局リストは、自宅モードとお出かけモードの2種類があります。登録できる放送局は、それぞれのモードで12個までです。

プリセットチャンネルとは

現在走行中のエリアで受信可能な放送局を登録できるチャンネルです。何度もチャンネルを合わせることなく、ワンタッチでお好みの放送局を受信できます。
プリセットチャンネルへの登録方法は、手動と自動の2種類があります。



プリセットチャンネルリスト
（放送局リスト）

MEMO

- プリセットチャンネルに登録される放送局は、メインチャンネルのみです。サブチャンネルを受信中にプリセットチャンネルを登録しても、そのメインチャンネルが登録されます。
- 「1セグ／地デジ切替」(P.170)の設定を変更して、ワンセグと12セグを切り替えても、プリセットチャンネルリストの表示は変わりません。

受信バンドを活用する

地域によって放送局が異なる場合に、そのエリア内でのプリセットチャンネルを「自宅」、「お出かけ」にそれぞれ設定することで、受信バンドをワンタッチで切り替えて利用できます。
たとえば東京にお住まいで、よく大阪に出かけられる場合は、「自宅」に東京、「お出かけ」に大阪の放送局を登録しておけば、お出かけ時にもワンタッチでお好みの放送局を受信することができます。
12セグ放送のサブチャンネルを視聴しているときにバンドを切り替え、再度元のバンドに戻ると、視聴しているサブチャンネルに戻ります。

1 ソース選択画面で TV

2 お出かけ

放送局リストの表示が切り替わります。
お出かけモード選択時には、キーのランプが点灯します。自宅モード選択時にはランプが消灯します。

リストに自動で登録する（オートプリセット）

1 ソース選択画面で TV

2 メニュー ▶ オートプリセット

受信可能な放送局が、現在のプリセットチャンネルに上書き登録されます。

MEMO

- お出かけモード中で、かつお出かけ地域を設定(P.172)している場合は、手順2の後に「現在のお出かけ地域設定を考慮しますか？」というメッセージが表示されます。 はい または いいえ をタッチして、オートプリセットを行います。
- 本操作中は、放送局を選択できません。終了するまでお待ちください。
- 受信状態によっては、1分ほど処理時間がかかることがあります。
- オートプリセット中は、 キャンセル を押してキャンセルすることができます。
- オートプリセットを行うと、現在のプリセットチャンネルに上書き登録されます。
  以前に手動で登録したプリセットチャンネルが消去される場合もあります。
- オートプリセットを途中解除した場合は、プリセットチャンネルの内容は書き換わらず、プリセットチャンネルのうち、オートプリセット前に受信していたチャンネルが選局されます。
- 地域設定(P.172)で優先エリアに指定されている地域の番組は、優先的にプリセットチャンネルに登録されます。
- 県境などでオートプリセットを実行時、同じチャンネルに複数の放送局が重なった場合は、オートプリセットしたリスト内の未登録のプリセットチャンネルに割り振られます。
- 空きプリセットチャンネル数により、オートプリセットした結果が全部は登録できない場合があります。
- 「1セグ／地デジ切替」(P.170)が「自動」の場合は、12セグを優先して受信します。「1セグ固定」または「地デジ固定」の場合は、選択したモードで受信します。

リストに手動で登録する

1 **ソース選択画面で TV**

2 **登録したい放送局を受信**

3 **登録するチャンネルを、「ピッ」という音がするまで長押し**



受信中の放送局が、そのチャンネルに上書き登録されます。

メイン／サブチャンネルを選局する

受信中のチャンネルにサブチャンネルが存在する場合、メインチャンネルからサブチャンネルに切り替えることができます。サブチャンネルが存在する場合は、画面に「SUB」と表示されます。(12セグのみ)

1 **ソース選択画面で TV**

2 **受信中のプリセットチャンネルを選択**



サブチャンネルに切り替わります。

テレビを観る

番組内容を見る（12セグ放送のみ）

現在受信中の番組の詳細内容を表示します。

MEMO

- 走行中は、本操作を行えません。

1 ソース選択画面で TV

2 メニュー ▶ 番組内容

MEMO

- 番組表(EPG)画面(P.165)で現在の放送時間ではない番組を選択した場合も、番組内容を表示できます。この場合は、番組内容の概要が表示されます。

データ放送を利用する（12セグ放送のみ）

地上デジタル放送には、映像や音声によるテレビ放送のほかに、現在地周辺の生活情報やクイズ・ニュース・天気予報などの便利な情報をお知らせするデータ放送があります。

MEMO

- データ放送がない番組の場合、d をタッチしてもデータ放送画面は表示されません。

1 ソース選択画面で TV

2 メニュー ▶ データ放送操作キー呼出

3 d

データ放送画面が表示されます。
画面を操作する場合は手順4に進みます。



：

手順4に進み、画面を操作できます。

d：

データ放送の表示／非表示を切り替えます。

終了：

データ放送の表示を終了し、テレビ画面に戻ります。

4 ◁▷

画面上に操作キーが表示されます。



青 赤 緑 黄：

画面に表示されている指示にしたがってタッチします。

0-9：

数字入力メニューに切り替わります。

d：

データ放送の表示／非表示を切り替えます。

移動：

操作キーの位置を画面の左右に移動します。

消す：

操作キーの表示を消します。

MEMO

- チャンネル選局直後には d をタッチしても動作しないことがあります。その際は、再度 d をタッチしてください。
- 画面下に「データ取得中」と表示されているときは、データ放送取得中のため、表示が消えてから d をタッチしてください。

緊急放送を観る

緊急放送とは、災害など、緊急な出来事が発生した場合に視聴者に、いち早く情報を知らせる放送システムです。
デジタル放送受信中に緊急放送がはじまると、画面に「EWS」(Emergency Warning System)、または「緊急放送を受信しました」と表示され、自動で緊急放送に切り替わります。



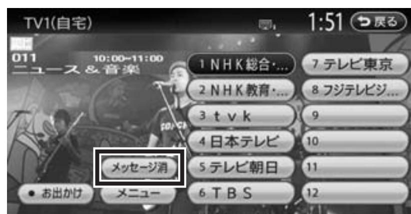
放送が終了すると、緊急放送前のチャンネルに自動で戻ります。

MEMO

- 緊急放送中でもチャンネル切り替えなどの操作はできます。
- 切り替えた放送局が緊急放送中の場合も、同様に緊急放送が表示されます。

自動表示メッセージについて

テレビを視聴中に、放送局から自動的に送られてくるメッセージがある場合は、そのメッセージ内容が画面上に表示されます。



テレビ画面で メッセージ消 をタッチすると、自動表示メッセージが消去されます。表示されない場合は、自動表示メッセージは消去できません。放送局側によって自動消去されるまでお待ちください。

地上デジタル放送の設定をする

地上デジタル放送で12セグとワンセグ共通の各種設定・編集ができます。

ワンセグ／12セグの切り替え設定をする

本機の地上デジタルTVチューナーは、12セグ放送受信時に電波が弱くなった場合、12セグ放送からワンセグ放送へ自動的に切り替える機能を搭載しています。
「自動」に設定中は、12セグ放送視聴中に受信電波が弱くなると、視聴していたチャンネルのワンセグ放送に自動的に切り替わります。
また、ワンセグ／12セグのみ受信することもできます。

MEMO

- ワンセグ放送の受信感度が悪い場合や12セグ放送で視聴していたチャンネルにワンセグ放送がない場合には、自動的に切り替わりません。ただし放送局によっては、ワンセグ放送を行っていなくても、自動的に切り替わる場合があります。
- 放送局によっては、12セグ放送とワンセグ放送とで番組が異なる場合があります。

1 ソース選択画面で TV

2 メニュー ▶ 設定

3 [1セグ/地デジ切替] の ◀ 、▶ で項目を選択



自動：
12セグ放送とワンセグ放送を自動で切り替えます。

地デジ固定：
12セグ放送を受信します。

1セグ固定：
ワンセグ放送を受信します。

MEMO

- 工場出荷時、「1セグ／地デジ切替」は「自動」に設定されています。
- 12セグ放送のサブチャンネルを視聴しているときにワンセグ放送に切り替え、再度12セグ放送に切り替えると、視聴しているサブチャンネルに戻ります。
- 「地デジ固定」に設定中、電波が弱くなった場合は、ワンセグ放送に切り替わらずに、12セグ放送の映像が静止画で表示されます。

音声言語を切り替える

2ヶ国語放送や複数の音声がある番組で、音声を切り替えます。

1 ソース選択画面で TV

2 メニュー ▶ 設定

3 [音声]の ◀ 、▶ で音声を選択

受信される番組は、それぞれ音声種類を持っています。12セグ放送は最大16音声まで、ワンセグ放送は2音声まで切り替えられます。

MEMO

- 音声を切り替えた後、ほかのチャンネルに切り替えると第1音声に戻ります。同じチャンネルのまま12セグとワンセグを切り替えた場合、設定した音声は変わりません。

二重音声を切り替える

主音声／副音声がある番組で、音声を切り替えます。

1 ソース選択画面で TV
2 メニュー ▶ 設定
3 [主/副] の ◀、▶ で音声を選択

「主音声」「副音声」「主／副 音声」から選択します。

MEMO

- 工場出荷時、音声は「主音声」に設定されています。
- 副音声の状態でほかのチャンネルに切り替えたとき、同じく副音声で放送されていればそのまま継続されます。

字幕表示を切り替える

字幕のついた番組受信中に字幕を表示する機能を設定します。
表示する場合は「第一言語」「第二言語」の各言語から選択します。

1 ソース選択画面で TV
2 メニュー ▶ 設定
3 [字幕] の ◀、▶ で項目を選択

「第一言語」「第二言語」「非表示」から選択します。

MEMO

- 工場出荷時、字幕表示は「非表示」に設定されています。

放送局を自動で切り替える

時間内に放送が終わらなかったとき、局が変更される番組（高校野球中継など）について、放送局の切り替えを自動で行えます。

1 ソース選択画面で TV
2 メニュー ▶ 設定
3 イベントリレー

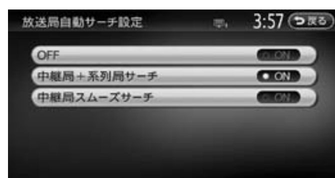
MEMO

- 工場出荷時、イベントリレーは「ON」に設定されています。

系列局／中継局を自動で探す

走行中に電波状態が悪化し、30秒間受信レベルが回復しない場合、放送局を自動でサーチするように設定することができます。

1 ソース選択画面で TV
2 メニュー ▶ 設定
3 放送局自動サーチ設定



OFF：
放送局の自動サーチを行いません。

中継局＋系列局サーチ：
走行している地域が変わった場合、その地域の中継局／系列局を自動でサーチします。電波が弱くなると、自動サーチを開始します。

中継局スムーズサーチ：
受信中の番組が12セグからワンセグに切り替わった場合、その地域の中継局を自動でサーチします。受信中の番組が受信不可となる前に、受信状態が良好な中継局の番組に自動的に切り替わります。また、受信不可になると自動で中継局／系列局をサーチします。
「1セグ／地デジ切替」が「地デジ固定」の場合は本機能は動作しません。

MEMO

- 工場出荷時、「放送局自動サーチ設定」は「中継局＋系列局サーチ」に設定されています。
- 中継局スムーズサーチは、放送局から送られてくる情報をもとにサーチ先を決定しています。そのため、新規に追加された中継局などは、サーチ対象とならない場合があります。

優先エリアを切り替える

県境などでオートプリセットを実行時、同じチャンネルに複数の放送局が重なった場合に、優先エリアのチャンネルが選択されるよう設定します。またデータ放送受信時に地域情報を取得するために郵便番号を設定します。
優先地域と郵便番号は「自宅」と「お出かけ」でそれぞれ設定できます。

1 ソース選択画面で TV

2 メニュー ▶ 設定

3 自宅エリア・郵便番号設定（TV1）（自宅モード中）または お出かけエリア・郵便番号設定（TV2）（お出かけモード中）

4 優先させたい地域を選択



5 郵便番号を入力 ▶ 決定



6 はい または いいえ



はい をタッチすると、オートプリセット(P.166)が開始されます。いいえ をタッチすると、オートプリセットを行わず、テレビ画面に切り替わります。

MEMO

- 工場出荷時、地域および郵便番号は設定されていません。
- エリアのみ設定したい場合や、その地域の郵便番号が不明な場合には、「設定しない」を選択してください。

放送メールを表示する

放送局から送られてくるメールの内容を表示できます。

1 ソース選択画面で TV

2 メニュー ▶ 設定

3 放送メール

放送メール一覧画面が表示されます。
すでに表示したメールは「既読」が、まだ表示していないメールには「未読」が表示されます。

4 メールを選択 ▶ 決定

選択した放送メールの内容が表示されます。

MEMO

- 放送メールの内容が複数ページあるときは、▲ ▼ で画面をスクロールして表示します。
- 放送メールを選択して消去することができます。手順4で 消去 をタッチし、確認画面で はい をタッチしてください。また、すべての放送メールを一括で消去することもできます。(P.173)
- 受信した放送メールは最大8個まで保存されます。8個以上の放送メールを受信した場合は、一番古い放送メールが自動的に消去されます。一番古いメールが未読状態でも消去されます。
- 放送メールの受信が1通もない場合、放送メール はタッチできません。

B-CASカード情報を確認する

1 ソース選択画面で TV

2 メニュー ▶ 設定

3 B-CASカード情報

B-CASカードIDの確認画面が表示されます。

MEMO

- テスト をタッチすると、B-CASカードの通信テストを行います。通信テストがエラーの場合、番組放送画面に戻るときにメッセージが表示されます。メッセージの内容にしたがって対処してください。
- B-CASカード未挿入時には、B-CASカードIDの確認画面の各項目には［－－－－］が表示されます。

設定情報を初期化する

1 ソース選択画面で TV

2 メニュー ▶ 設定

3 設定情報初期化

4 初期化したい設定情報を選択



消去の確認画面が表示されます。

受信メール消去：
放送メールをすべて消去します。

自宅エリア設定消去：
自宅モードの地域と郵便番号設定を消去します。

お出かけエリア設定消去：
お出かけモードの地域と郵便番号設定を消去します。

各種設定項目の初期化：
設定メニューで設定した項目を初期化します。プリセットチャンネルリストおよび画質調整設定の初期化、放送メールの消去は行いません。

全データの消去・初期化：
設定メニューで設定した項目およびプリセットチャンネルリストを初期化します。また、放送メールをすべて消去します。画質調整の設定は初期化されません。

5 はい

選択した各設定が初期化されます。

MEMO

- 初期化メッセージ表示中には、エンジンを切らないでください。初期化中にエンジンを切った場合、初期化できないことがあります。

映像／音声のずれを補正する

12セグ／ワンセグ自動切替時の映像／音声のずれを軽減します。

1 ソース選択画面で TV

2 メニュー ▶ 設定

3 遅延補正

MEMO

・工場出荷時、遅延補正は「ON」に設定されています。

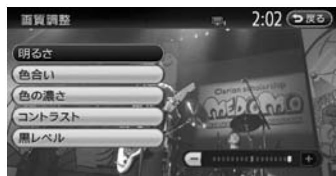
画質を調整する

1 ソース選択画面で TV

2 メニュー ▶ 設定

3 画質調整

4 調整する項目を選択



明るさ：
明るさを調整します。

色合い：
色味を調整します。

色の濃さ：
色の濃さを調整します。

コントラスト：
明るさと暗さの差を調整します。

黒レベル：
黒レベルを調整します。

5 − または ＋

画面の映像を見ながら画質を調整します。

MEMO

・画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。